

同時開催！ありのままのアートフォーラム

①トークセッション 「己の異彩を育む」

近頃人と“違いづらい”なぁと感じるすべての人へ送る情熱トークセッション。

誰もがマイナスだとしが思っていなかった豪雪地帯、津軽の地吹雪。この“厄介もの”を観光資源に変えた一人の観光カリスマがいる。

過剰な同調圧力がかかる現代社会。一方でインターネットの発達と共に、“異彩”をたくさんの人に届けるチャンスも増えている。これからの地方活性化の重要なリソースとなりうるこの“異彩”の育み方はいかに。そしてそこに対して福祉施設は何ができるか!?

日時： 令和5年11月18日（土） 10:30～12:00

場所： 青森県立美術館 コミュニティギャラリー

申し込み： 不要（当日会場へお越しください）



角田 周 (かくた しゅう)

1953年青森県北津軽郡金木町(現・五所川原市)生まれ。日本大学芸術学部音楽学科卒業。都内で音楽事務所を経営していたが、生家の金物店を継ぐためにUターン。

のちに金物店は廃業し、ピアノ教室を開設した。1987年、ボランティアの企画集団・ラブリー金木を立ち上げ、1988年から毎年「地吹雪体験ツアー」を開催。以来次々と、ユニークな地域活性化企画を実現し、ヒットさせている。2003年国土交通省の観光カリスマに選定される。



前田 竜之介(まへだ りゅうのすけ)
社会福祉法人ほほえみ 統括施設長

1985年 弘前市生まれ。弘前学院大学を卒業後、社会福祉法人ほほえみへ入職。法人内において障害者の表現活動の機会提供などに取り組んでいる。



大橋 一之(おおはし かずゆき)
社会福祉法人あーとど 理事長
1980年 旧金木町(現・五所川原市)生まれ。北海道医療大学を卒業後NPO法人あーとど(現・社会福祉法人あーとど)を立ち上げる。青森県から事業を受託し、障害者の芸術文化活動の推進に取り組んでいる。

②ワークショップ 「画材に触れてみよう！」

福祉施設において創作活動を計画する時、何かから取り組んでいいか迷うことはありませんか？

「とてもユニークな行動や造作をする利用者さんがいるが、作品にできないかな…」

「美術を学んでいないから、何をサポートしたらいいのかわからない…」

「そもそもどんな画材を用意していいかわからない…」

このワークショップでは、よく使う画材とその特徴などを知ると同時に、福祉施設において支援者が創作活動の幅を広げることができるよう、実際にご自身に楽しく創作活動をしていただきます。

日時： 令和5年11月18日（土） 13:30～15:30

場所： 青森県立美術館 ワークショップA

申し込み： 下記アドレスまでお名前、電話番号、所属等を添えてメールでお申し込みください。

【メールアドレス】 aasc@aorld.com

**対象： 障害福祉福祉サービス従事者
保護者 等**



講師 藤沢 彩子

武蔵野美術大学短期大学部 卒業

2001年より八戸市にて絵画教室アトリエコロールを主宰。子どもから大人まで幅広い年齢層に向けて絵を描くことの楽しさを伝えている。